

味の素株式会社  
九州事業所アミノ酸を活用し  
人にも環境にも配慮した  
製品づくり

## 研究を重ねてより良い製品を

各家庭の料理の味付けに欠かせないうま味調味料の“味の素®”。料理の基本味であるうま味は、アミノ酸の一種として知られています。

アミノ酸は、人間の体の20%を占めるたんぱく質を構成しており、体を維持するために重要な役割を担っています。さらに体の修復機能をサポートする働きもあるなど、人体には欠かせないものです。

トモロコシやキャッサバなどから糖液を作り、その糖分が発酵菌に取り込まれて発酵することによってアミノ酸は生まれます。その発酵液からグルタミン酸ナトリウムを精製し結晶化することで製品となります。

「現在では世界各地の約20の工場であミノ酸を製造しています」と田村所長。味の素九州事業所では、20種類あるアミノ酸のうち、医薬用途等に使用されるアルギ

ニンや、低カロリー甘味料アスパルテームの原料となるフェルアラニンなどを生産しています。

「国内生産の拠点として、常に最高技術の発酵でアミノ酸を作り出せるように研究開発に取り組み、高度な品質管理を行っています」と田村所長は話します。

## 無限の可能性を探求

アミノ酸を使った製品として、アミノ酸サプリメントの“アミノバイタル®”や低カロリー甘味料の“パルスweet®”など数多くを開発・製造。さらに、昭和31年(1956年)には、世界に先駆けて医療分野にもアミノ酸を活用し、現在も医薬用アミノ酸のトップメーカーとして名をはせています。

人と環境に配慮した製品づくりにも積極的に取り組んでおり、発酵過程でできる副産物を野菜などの肥料にし、地域の農業に

活用しています。

「アミノ酸をたくさん含んだ副産物を肥料にすると、野菜のアミノ酸量も増しておいしくなります。このように資源を循環させることを“バイオサイクル”と呼び、資源を無駄なく生かすようにしています」と、環境にも味にも良い農業の実現に貢献しています。

これからもより良いアミノ酸を提供するとともに、可能性を探求し続けます。

九州事業所長  
たむら こうじ  
田村 光司料理をおいしくする  
うま味調味料“味の素®”

## 味の素株式会社 九州事業所

☎ 0952-47-2211

[所] 佐賀市諸富町大字諸富津450

[設立] 昭和18年(1943年)

[従業員] 274名

[HP] <https://www.ajinomoto.co.jp/> 味の素 検索

## CO2ポイント

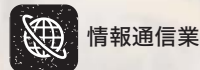


イオン九州と共同で、発酵副産物を添加して製造した堆肥を利用して栽培した野菜は“九州力作野菜®”、“九州力作野菜果物®”として販売。バイオマス化により年間2,000トンのCO<sub>2</sub>削減に相当する重油の削減に貢献し、第3回ジャパンSDGs※アワードでSDGs副本部長賞を受賞しました。

※SDGs: 持続可能な開発目標。平成27年(2015年)の国連サミットで採択された国際社会共通の目標



32  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



イーダブリューム

## 株式会社 EWM ファクトリー

社会のニーズに IT で応え  
地域の活性化に取り組む

### ものづくりの拠点

EWMグループの制作拠点として、九州をはじめ首都圏・東北地方の企業や公共機関のWebサイト、大規模イベントサイトの構築・運営を行っているEWMファクトリー。

福島リーダーは「友納代表は、中央集中化の現状を変え、地方をもっと元気にして日本全体を豊かにしたいと、故郷の佐賀に我が社を設立しました。培ったIT技術を活用し、地域の活性化に取り組んでいます」と話します。

クリエイターなどが集い、気軽にものづくりを楽しめる場を提供したいと佐賀市の“街なか再生計画事業”の一環で、古民家をリノベーションした、ものづくりカフェ“こねくり家”をオープン。飲食店で役立つITツールやアプリを試す実験場としての役割も担っており、実際に良かったものは他店に紹介し、喜ばれています。

さらに県内企業を対象に、AI※1やIoT※2

などの先進技術の導入支援やサポートを行う“佐賀県産業スマート化センター”を運営。

ITに対して“よく分からない”、“難しい”という人の相談窓口として、困り事や課題を聞いて、ITでの解決法を提案し、企業の生産性向上や新たなビジネスの創出につなげています。

また、先進技術を身近に感じられるようにとイベントやセミナーを開催しています。



### ITで困り事を解決

Web制作で磨いたIT技術とデザイン力を生かし、新たな視点で佐賀の魅力を発信するWebマガジン“EDITORS SAGA”の共同運営や、地域のクリエイターと仕事を生み出す“ふるさとソーシングSAGASO”などにも取り組む同社。

令和2年(2020年)4月には佐賀市富士町の廃校をリノベーションし、“SAGA FURUYU CAMP”として宿泊所をオープンさせる予定など、多角的に事業を拡大しています。

「困っている人に何ができるのかを考えて仕事を創り出すことに、私たちの存在意義があります。社風としても、一人一人が主体的に取り組み、楽しみながらも責任感を持って挑める環境です。今後もさまざまな分野にIT技術を提供し、佐賀を元気にしていきたいです」と福島リーダー。

業界の垣根を越え、人に寄り添い、IT技術で新たな可能性を開きます。

※1 AI:人工知能のこと

※2 IoT:モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



ソーシャルデザイン事業部  
リーダー

ふくしま ふみや  
福島 史也

農業散布用に  
開発したドローン



## 株式会社EWMファクトリー

☎ 0952-41-2780

[所] 佐賀市天神3-15-1 アイ・フォレストビル2F

[代表者] 代表取締役 友納 健一郎(とものお けんいちろう)

[設立] 平成18年(2006年)

[従業員] 69名

[HP] <https://ewm.co.jp/> EWMファクトリー 検索

### このポイント!



ものづくりカフェ“こねくり家”では無料のWi-Fiと電源を利用して、仕事を行っているクリエイターの姿が見られます。また、子ども向けのプログラミング教室や女性向けの講座なども開催しています。佐賀の食材を使ったメニューもおいしいと評判で、旅行者にも人気です。



## 株式会社イマリ

ネット通販事業の先駆者  
未知のビジネス領域を開拓



### 通販事業で成長、多角化も

佐賀県の小売業界でまだインターネットによる通販が盛んではなかった頃、いち早くアロマランプのネットショップを立ち上げ、大きく成長したイマリ。久保代表は、家族が個人サイトとして運営していた事業を平成19年（2007年）に18歳で引き継ぎ、法人化しました。急成長の転機は大手ECサイト“楽天市場”への出店。年商3億円にも到達するほどの売上となり、現在もアロマランプの通販業界ではシェア1位を誇ります。自社のブランド展開のほか、企業向けのフレグランスのリース業なども行っています。

平成23年（2011年）以降、サイズを細かくそろえたレディース帽子の通販事業、佐賀市内での辛麺屋初出店と、多角経営を展開。県内の事業者で初めて楽天ショップ・オブ・ザ・イヤーを受賞し、外食事業は4店舗に増えるなど業績を伸ばしています。

さらに、現在、力を入れているのが、ウェルネス事業です。平成29年（2017年）、“第3の生理用品”といわれる月経カップ“ローズカップ”を発売。安全性を追求した“メイドインジャパン”の製品として注目を集めています。

### 世界を見据えた経営

久保代表は、会社設立当初から海外展開を見据え、名の通った“イマリ”を社名にしたと言います。自社の商品をアジア向けにも販売するほか、ウェルネス事業ではアフリカの貧困問題にも目を向けるなど海外の商品動向も常に意識し、独自分野を開拓してきました。

「外食事業でも、インターネット通販の強みを生かしています」と久保代表。定期的に冷蔵庫内の点検やメニューの変更を行い生産性を上げるほか、従業員に対して

も、ルールや査定表に基づいた評点を3か月に1度給与に反映させるなど、年齢に関係なく評価します。久保代表は「もちろん人材も大切ですが、誰でもできる仕組みづくりが重要です」と、多くの業務をシステム化しています。

常に高みを目指す経営手法は“売上の数字はお客さまを幸せにした数と同じ”という思いの表れ。これまでまいてきた種をさらに育て上げるべく突き進んでいます。



代表取締役

くほ まさや  
久保 雅也独自ブランドも展開する  
アロマランプ

## 株式会社イマリ

☎0952-97-9631

[所] 佐賀市鍋島町森田102-1

[創業] 平成10年（1998年）

[従業員] 60名

[HP] <https://www.imari-group.co.jp/>  

### ココがポイント!



インターネット通販事業に早期参入した先駆的モデル。その実績から佐賀県のネット通販支援事業の公式アドバイザーとして県内企業約100社にサポートを行うなど貢献しました。アパレル、飲食、ウェルネス事業など新しいビジネスモデルを次々と構築し、海外展開も行っています。

## 岩尾磁器工業 株式会社

化学工業の根幹を支える  
耐酸煉瓦のトップメーカー



### 耐酸煉瓦のパイオニア

有田焼の伝統窯である岩尾對山窯を継承し、昭和11年(1936年)に創業した岩尾磁器工業。セラミックスの総合メーカーとして、その製品は化学工業磁器や水処理設備・環境装置、磁芸壁画などさまざまな分野で使われています。中でも硫酸のような化学薬品や熱に強い“耐酸煉瓦”は国内で80%以上のシェアを誇ります。

創業時、国産の耐酸煉瓦の需要の高まりを受け、同社の陶磁器製造の技術と有田泉山の陶石が持つ耐酸性の特性を生かした国内初の耐酸煉瓦を開発。たゆまぬ研究開発に基づき化学工業用磁器製品を多様化させ、同社の製品は国内外の化学工場に欠かせないものとなりました。

「お客さまによって工場の環境や扱う薬品も異なるため、特性や設備に合わせ耐熱性・耐酸性などを調整します。形状の加工に至っては手作業のため、製造はオーダー

メイドです」と岩永常務。

さらに長年の経験が生かされ、工場設備の設計から製造、点検や補修まで一貫して行う同社。高度な技術と対応力がお客さまからの信頼につながり高いシェアを維持し続けています。

### セラミックスの可能性を開く

これまでに培われてきた原料開発、耐酸煉瓦製造のノウハウを応用し、次世代のセラミックス素材の開発に力を注ぐだけでなく、セラミックスを用いた環境浄化にも積極的に取り組む同社。

「既存のものを守りながら新しい分野に挑戦しています。私たちの商品は全て特注品ですので、一件一件プロジェクト形式で製品づくりを進めています。ニーズに対応するためお客さまと膝を突き合わせ、現場に足を運んで製品を使う場所、使い方を

知ることで社員の開発力と技術力を磨き、エンジニアとして技術を高めています」と岩永常務。

耐酸煉瓦以外の分野では機能性セラミックスの開発にも積極的に取り組み、蓄熱性と耐酸性に優れたセラミックスハニカムが有用性を発揮しています。

有田から世界へ“磁器の総合オートクチュールメーカー”として、さらなる成長は続きます。



常務取締役事業本部長  
いわたが ひろし  
岩永 寛

化学工場などで  
使われている耐酸煉瓦



## 岩尾磁器工業株式会社

☎ 0955-43-2111

[所] 西松浦郡有田町外尾町丙1436-2

[代表者] 代表取締役社長 岩尾 慶一(いわお けいいち)

[創業] 昭和11年(1936年)

[従業員] 220名

[HP] <http://www.iwao.co.jp/>

岩尾磁器工業 検索

### ポイント



岩尾磁器工業の化学工業用磁器は、各時代の最先端の化学技術を支え、現在も日本の化学工業の根幹を支えています。これまでの経験から化学工場におけるあらゆる問題に対応した高品質で多彩な材料と利用システムを提供し、国内はもとより、海外50数カ国にも輸出しています。



## 株式会社大橋

環境保全と社会貢献が  
テーマの粉砕機メーカー



### ニーズに応えた粉砕機

剪定材や間伐材、竹などを砕く樹木粉砕機メーカーの大橋では、商品の設計から製造までを自社で行い、その優れた商品は森林や公園、果樹園などで活用されています。

創業当初はゴルフ場機器メーカーとして成長していましたが、平成9年(1997年)の地球温暖化防止京都会議を機に、これからの時代は“環境”がキーワードになると方向転換。

お客さまから“外国製の粉砕機はチップが粗く、葉も切れないため堆肥に利用できない”と相談を受け、新たな粉砕機の開発に乗り出しました。ゴルフ場機器回転の技術を元に研究開発スタッフが試行錯誤を重ね完成した粉砕機は、利用者の評判も上々でした。

22馬力という中型機を製造していましたが、小型機もほしいとの要望に応えたことで販路を広げ、国内粉砕機のトップシェア

を占めるまでに成長。

大橋社長は「常にお客さまの声に耳を傾け、品質向上に努めてきました。どの部門でも新入社員は一度製造現場を体験し、一人で組み立てられるように研修しています。そこで製品への責任と愛情が深まり、製造への意欲にもつながっています」と社員のものづくりに対する思いを醸成しています。

こうしたものづくりの楽しさに触れられる環境の中、工場では溶接や組立にも女性が活躍しています。

オマス燃料、家畜の敷料として利用できるようになりました。

特に、石油・石炭に代わるバイオマス燃料として利用すれば、CO<sub>2</sub>の排出抑制ができます。

「粉砕機を通し、地球環境に貢献できるのはうれしいです。今後も粉砕機の可能性をさらに探りつつ、環境に貢献できる新たな製品づくりに取り組んでいきます」と大橋社長。

“環境”をテーマに、これからもお客さまの声を大切に、強い技術力で時代を切り開きます。

### チップも無駄なく再利用

独自ブランドに加え、OEM※1での提供も行っている同社。そこまで成長した要因は粉状にまで細かく砕く粉砕機能です。

それまで廃棄物として処理されていたチップが、園芸でのマルチング材※2やバイ



※1 OEM: 委託者のブランドで製品を生産すること

※2 マルチング材: 庭やガーデニングの地表面に敷くことで雑草の発生や水分の蒸発を防ぐもの



代表取締役社長  
おおし ひろゆき  
大橋 弘幸

手軽に操作ができると  
評判の小型粉砕機



## 株式会社大橋

☎ 0952-44-3135

[所] 神崎市千代田町崎村401

[創業] 昭和63年(1988年)

[従業員] 36名

[HP] <http://www.ohashi-inc.com/> 大橋 検索

### ポイント



大橋の粉砕機は、庭が多く環境意識の高い欧州にも販路を広げています。海外製に対し小型で自走可能な点と、粉砕しながらチップを庭にまける点が高く評価されています。雑草発生の防止になると庭のマルチング材としても利用されています。さらに北米、オセアニアへの進出にも取り組んでいます。

## 株式会社 佐賀電算センター

福祉行政、医薬品流通等の  
IT分野において  
全国シェア1位を獲得



### IT革命の時流を捉え成長

会計事務所を前身に昭和50年（1975年）に設立し、ソフトウェア開発やネットワークサービス、アウトソーシングサービスなど情報化に関する総合的なサービスを提供する佐賀電算センター。著しく変化するIT技術の時流を的確に捉え、全国展開を加速させています。「独自のIT技術とサポート力で、日本一魅力的なサービスを提供していきたい。そうでなければ生き残れません」と宮地社長。

同社はすでに国内トップシェアを誇るシステムを持っており、全国の自治体や企業で採用されています。例えば、自治体の介護・福祉事業をサポートするシステムは全国45都道府県と11の政令市をはじめとした359の市区町村に導入され、調剤薬局の医薬品流通業務をサポートするシステムは全国にある薬局の5割に当たる約3万店舗で利用されています。近年は、農産直売所

の仕入れ・販売などを一括管理するシステムが注目を集め、全国330カ所で導入されています。新しい制度・施策を先読みし、業務の効率化につなげるシステムを他社に先駆けて開発することで全国1位を実現してきました。

### 全国展開と地域密着の両輪

同社は全国展開しながらも、地元の企業・自治体にはよりきめ細かな密着したサポートを徹底。佐賀を代表するIT企業だという自負と、地元の成長や発展に貢献したいという思いがあるからです。10年前からは、環境保全活動の一環として、佐賀市との協定で指定された市有林を“佐賀電算センターの森林”と名付け、枝打ちや草刈りなど森林保全・管理活動を実施。さまざまな地元への貢献が評価され、平成23年（2011年）にふるさと企業大賞（総務大臣

賞）を県内で初めて受賞しました。

今後は、あらゆる分野でデジタル化が進み、本格的なAI※1やIoT※2の時代に入ることから、平成29年（2017年）にAI開発室、令和元年（2019年）にデジタルソリューション事業部を設立。先端技術を活用した新しいデジタルビジネスの創出で、さらなる成長を目指します。



※1 AI：人工知能のこと

※2 IoT：モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



代表取締役社長  
みやち だいじ  
宮地 大治

ニーズに合わせた  
システム提案が魅力



## 株式会社佐賀電算センター

☎0952-34-1500

[所] 佐賀市兵庫町藤木1427-7

[設立] 昭和50年（1975年）

[従業員] 426名（グループ会社含む）

[HP] <https://www.sdcns.co.jp/> 佐賀電算センター 検索

### ポイント



※ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し同社が独自に実施“Pepper”はソフトバンクロボティクスの商標です。“Pepper”が同社の商品サービス等を紹介しています

令和元年（2019年）7月に、ショールーム“DX※3ラボ”をオープン。AI関連や遠隔作業を支援するスマートグラスなど、最新デジタル技術を気軽に体験できるオープンスペースです。豊富なノウハウに先端技術をプラスして、お客さまの課題を解決します。

※3 DX：デジタルトランスフォーメーション

# 37

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 昭栄化学工業 株式会社 鳥栖事業所

独創的技術で未来を拓く



### 電子材料でトップシェア

昭栄化学工業は、今や日常生活に欠かすことのできないスマートフォンをはじめ、さまざまな電子機器に使われている電子部品の材料メーカーです。同社の主力製品である積層セラミックコンデンサ用Ni粉末およびペーストのシェアは、現在世界で40%を超えており、便利で豊かな生活を支えています。

昭和31年(1956年)の創業以来、電子部品用電極材料を作り続けてきた経験と技術力に対して、お客さまから厚い信頼を得ています。浅田社長は「60年以上にわたり培ってきた高い技術力とノウハウを生かし、常にお客さまの要望に対応してきました。金属微粉末といっても、形状や大きさなどお客さまの要望に合わせたものを作らなくてはなりません。たとえば高精度の積層セラミックコンデンサの電極材料には、0.3マイクロメートルの厚みの中に3~4粒

を重ねられるくらいの微細な粒子が求められます。また、ナノメートルの世界で粉末の大きさを均一にそろえることは非常に困難ですが、弊社はその技術を持っています。そこが一つの強みですね」と話します。

### 常に独創的技術を探求

近年、電子機器の小型化、高機能化に伴い、ますます電子部品の需要が高まる中で、さらなる新しい技術の研究開発が求められています。「私たちは、独創的技術に基づいたものづくりを大切にしています。新しい素材や生産技術の開発に注力しており、製造装置の多くは内製しています。そのために、社内でも興味を持って自分で学んで研究をしたいという意欲がある社員には学べる環境を用意しており、入社してから博士号を取る社員もいます」と浅田社長。

これから電子部品は、5G※1やIoT※2の進展に伴い、電子機器だけではなく自動車などさまざまな分野に使われていきます。

“量子ドット”という新しい半導体ナノ粒子の開発も行う昭栄化学工業は、さらに技術力と生産性を高め、今後ますます電子化が進む社会の発展に貢献していきます。



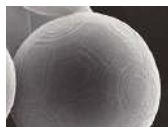
※1 5G: 第5世代移動通信システム。1G、2G、3G、4Gに続く無線通信システムのこと  
※2 IoT: モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



私たちの生活に欠かせない  
昭栄化学工業の金属微粉末

取締役社長

あさだ しゅういちろう  
浅田 修一郎



## 昭栄化学工業株式会社 鳥栖事業所

☎ 0942-82-6661

[所] 鳥栖市藤木町字若桜5-3

[創業] 昭和31年(1956年)

[従業員] 445名

[HP] <https://www.shoeichem.co.jp/>

昭栄化学工業 検索

### ココポイント!



創業以来、“独創的技術で社会に奉仕”、“会社の繁栄と社員の幸福”という経営信条のもとに社員一人一人が自らの仕事を極め、幸せになれる企業を目指しています。

## 聖徳ゼロテック 株式会社

精密プレス金型に特化  
限りないゼロへの挑戦

### 精密プレス金型の製造

パソコンやスマートフォン、自動車のパーツなど、身近な工業製品を作るために量産される部品の多くは“金型”を使って作られています。聖徳ゼロテックは主に電子機器などに使用される部品のプレス金型を製作し、その精度が非常に高いことで全国的に知られています。超高剛性・超精密プレス機を備え、安定のミクロン加工を実現。成形する過程で傷みにくく、経年劣化しづらいという点も大きな特長です。

2代目の古賀代表は「金型は作って終わりではなく、3年、5年と使って評価されるタイプの製品です。そのため、熱処理から加工方法に至るまで工夫しています」と話します。製作した金型は必要に応じて販売もするため、ビジネスチャンスが拡大。生産拠点においては、プレス工場も併設し、設計から試作、製造、検査までを自社で行うため、スピーディーな納品が実現可能です。

「社名の“ゼロテック”は、誤差を限りなくゼロに近づけるという思いで先代の社長が名付けました。一つ一つの製品は、安全性の根幹に関わるものですから、たとえ1万個に1個の不良品も許されません」と古賀代表。全社で技術を磨くとともに“メイドインジャパン”の製品の信頼性を高めています。

### 全社共通の“ゼロへの挑戦”

金型の設計や組み付けを行うには最低5年を要するため、長く働く喜びを感じてもらおうと、展示会にも積極的に参加している同社。来社したお客さまと直接やりとりすることが、社員の仕事のやりがいにつながっています。さらに、10代の若手から60歳以上のベテランまで男女を問わず幅広い人材が活躍するなど、誰もが働きやすい環境が整えられているため、高い技術と

のづくりに対する意識が保たれています。

平成21年(2009年)には“ハイブリッド金型”と銘打った独自の金型を開発し、材料の消費を抑えながら30%以上の歩留まり率向上を実現。電気やロボット技術を活用した金型製造にも取り組んでいます。

ゼロテックの社名通り、“ゼロへの挑戦”は続きます。



代表取締役  
こが ただすけ  
古賀 忠輔

高精度のプレス金型



## 聖徳ゼロテック株式会社

☎ 0952-29-6828

[所] 佐賀市西与賀町高太郎172

[創業] 昭和50年(1975年)

[従業員] 33名

[HP] <https://www.shotoku-net.com/> 聖徳ゼロテック 検索

### ポイント



精密プレス金型の設計から試作、製造のほか、販売やプレス加工まで全てを自社で行います。歩留まり率を向上させるハイブリッド金型も開発・提供。製品公差をミクロン単位でゼロに近づける高度な技術を求め、県外からの視察も多く、金型の価値を高めています。





## 田中電子工業 株式会社

供給量世界一  
最高品質のボンディングワイヤが  
情報化社会を支える



### 高品質の金属素材

金や銅、アルミなどの金属を、髪の毛の4分の1程の15~25マイクロメートル径の極細線に加工した“ボンディングワイヤ”は、LSI※やトランジスタなどの半導体チップをつなぐ配線材で、パソコンやスマートフォンなどに使用される電子機器に不可欠な製品です。

部品の小型化に伴って、ワイヤの線径もどんどん細くなる傾向で、電気自動車、医療、航空宇宙産業などでもワイヤの需要が高まっています。

歴史と信頼のある田中貴金属工業のグループ会社である田中電子工業では、純度の高い、99.999%の金属を使用しており、その高い品質と長年の実績から世界シェア1位の地位を確立しています。

「平成15年(2003年)頃からボンディングワイヤの製造に特化していきました。グローバルリーダーとしてお客さまに真の価

値を提供してダイナミックに成長するのが我々の企業ビジョンです」と井関社長。

開発拠点とマザー工場の役割を担った佐賀で、ニーズを先取りした電子部品と材料の開発に取り組み、世界5カ所にある製造拠点で世界中からの注文に対応しています。

### 人が支えるサポート力

競争の激しい業界の中で、圧倒的な技術サポート力で他社との差別化を図っている同社。

「単に商品だけを売るビジネスではなく、お客さまの要望にお応えするサービスの重要な要素と組み合わせ、全てのお客さまに満足していただける、トータルソリューションの提供に努めています。一人前のエンジニアを育てるのに10年はかかりますが、ここまでできるメーカーは他にはありません。だからこそ、人が大事なんです」と

人材育成に重点を置く井関社長。

役職、年齢、在籍期間などに合わせた豊富な研修制度が整っていることで、常に目標とやりがいを持って働くことができます。

また、井関社長は社内報を通して自身の思いを発信したり、自由に語り合える“対話会”を設けて社員の声に耳を傾けたりしています。

地元採用にも積極的で、女性も多く活躍し、海外で働く機会もあります。

田中電子工業は、これからもお客さまの要望に応えるべく品質とサービスを向上させていきます。



※LSI: 多数のトランジスタやダイオード、抵抗、コンデンサなどの電子部品を、一つの半導体チップに組み込んだ集積回路(IC)のこと



代表取締役社長 執行役員  
いせき しげる  
井関 茂

純度99.999%の金属を使用した  
ボンディングワイヤ



## 田中電子工業株式会社

☎ 0952-53-2345

[所] 神埼郡吉野ヶ里町吉田2303-15

[創業] 昭和36年(1961年)

[従業員] 220名

[HP] <https://tanaka-preciousmetals.com/jp/>

田中電子工業 検索

### CCPポイント



電気自動車や医療などの分野において、さらにボンディングワイヤのニーズが高まる中、田中電子工業はその世界で35%というトップクラスのシェアを占めています。要望に応えるとともに付加価値を高めるべく、ワイヤの形状加工にも取り組み、高品質で高性能な製品づくりに力を入れています。

40  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## チクシ電気株式会社 佐賀工場

マイスターがいる  
ものづくりの現場で技術を研鑽

### 設計から検査まで一貫体制

通信・電気機器関連の設計から製造、工事、保守まで総合的な事業を展開するチクシ電気。九州各県に事業所（福岡、北九州、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島）を構え、佐賀工場はものづくりの拠点として電力会社や一般企業向けの電源装置、制御装置、通信機器等を製造しています。

「製品の設計から製造、検査まで一貫して生産できる体制を整えています。電気機器を収める箱の板金加工や塗装も手掛け、あらゆるニーズに対応できる技術力こそが我が社の強みです」と中村工場長。まさに大量生産の既製品では対応できない、顧客の細かな要望に応えられるオーダーメイドの製品づくりこそが同社の得意とするところ。ものづくりの現場には、確かな技術力を武器に実績を重ねてきた技能者たちが集まっています。

### 熟練技能者による技術指導

同社には、電子機器組立て技能士や電気機器組立て技能士、電気工事士など国家資格に合格した技能士や技術者が数多く在籍し、高度な技能者だけに与えられるマイスターも4名います。このような熟練技能者から技術を継承し、後継者育成につなげようと「マイスターたちが講師になって社内で勉強会を開き、技能検定にチャレンジする社員を全面的にサポートしています」と中村工場長。資格取得の推奨は、技術的なレベルアップだけが目的ではありません。検定は限られた時間内に課題をクリアする必要があり、いかに効率良く作業を進められるかが合否のポイントになります。「実際の仕事でも、段取りの良さが仕事の効率化につながります。検定を通して効率的な作業の進め方を学び、仕事に生かしてもらいたいです」と中村工場長は話します。

社員同士が切磋琢磨し、スキルアップに励み合える現場は、ものづくりが大好きな技術者にとって恵まれた環境です。チクシ電気にしかできないものづくりにこれからも挑戦していくため、多様化するニーズに対応できる技術を日々研鑽し続けます。



取締役  
佐賀工場長  
なかむら ともなり  
中村 智成

金属材料を結合させる  
自動冷間圧接工具



## チクシ電気株式会社 佐賀工場

☎ 0952-52-1265

[所] 神埼郡吉野ヶ里町立野560-11

[代表者] 代表取締役社長 中村 茂己(なかむら しげみ)

[創業] 昭和60年(1985年)

[従業員] 114名

[HP] <https://www.chikushi-ele.com/> チクシ電気 検索

### このポイント!



ものづくりの楽しさを子どもたちに伝えるため、マイスターを中心とした技術者たちが、県内の小学校等で出前授業を行っています。ハンダごてを使った電子工作には、子どもたちも興味津々。佐賀県立産業技術学院の“さが技能フェスタ”でも体験コーナーを毎年出展しています。

41

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE製造業  
(機械金属系)日本ハードメタル  
株式会社圧倒的な技術力で  
世界に挑む

## 世界トップクラスの技術

武雄市内の2カ所に工場を構える日本ハードメタルは、ダイヤモンドに次ぐ硬さを有する超硬合金素材の製造と販売を行っています。

本社は神奈川県にありますが、製品の約7割が武雄の2工場で製造されており、自動車産業や航空宇宙産業で使用される切削工具や、トンネルを掘る際に使用される岩盤を砕く刃(ビット)など、さまざまな分野で活躍する道具を作っています。

とりわけ丸棒型の給油穴付きねじれ加工製品は世界トップクラスの精度を誇る高品質で、世界中から注文が来ています。

「平成2年(1990年)に建設した九州橋工場では特殊形状の成形素材を製造しており、生産拡大のため平成28年(2016年)に建設した九州北方工場では特殊研削加工の専門工場として丸棒の研削品などを量産しています。高品質や短納期、超

硬合金素材の研磨やねじれ穴付き加工などで付加価値を高めています」と早坂代表。

製品の豊富なラインナップと、公差範囲わずか4マイクロンという高い技術力が光ります。

さらに九州北方工場では、高断熱外壁、無窓化によって環境負荷を減らし、省エネルギーかつ高精度な生産を実現しています。



## 技術力こそが武器

技術を磨き、精度を高めている同社では、飽くなき探究心で常に品質改良に取り

組んでいます。

現在の技術では超硬材料を焼き固める際、外的影響によって縮み方が異なります。そこで、常に同じ縮み方をする材料を作る技術と、その縮む量を確実に読み取る技術との両方を突き詰めるため、研究開発を進めています。

また、社内では、県内の工業高校出身者がこれまでに磨いた技術を発揮し、ものづくりに取り組んでいます。さらに出荷前の厳しい品質確認では女性が活躍しています。

「我が社は超硬素材メーカーとしては非常に小さいのですが、技術を磨き、“ハードメタルの製品じゃないと”と言われる製品を追いかけています。技術力だけは負けたくないですね。人、設備、測定技術で品質を上げ、さらなる規模の拡大と生産性の向上を図ってまいります」と力強く語る早坂代表。常に前を向いて成長し続ける、ものづくり企業です。

代表取締役  
はやさか てつろう  
早坂 哲朗主にドリルに使用される  
“ねじれ穴付き素材”

## 日本ハードメタル株式会社

九州橋工場

☎ 0954-23-9151

[所] 武雄市橋町片白9309-6

[創業] 昭和39年(1964年)

[従業員] 230名

[HP] <http://www.nhm.co.jp/>

九州北方工場

☎ 0954-28-9363

[所] 武雄市北方町大字大崎5173-9

日本ハードメタル 検索

## このポイント!



超硬合金やサーメットの素材メーカーとして多品種で多様化する素材の研究開発にも取り組み、原料の配合から製作まで一貫して対応。高品質な製品は幅広い分野の各種工業用工具に使われ、日本、そして世界のものづくりを支えています。

## 福博印刷株式会社

お客様の課題を解決する  
ビジネスパートナー



### 印刷からAI活用支援まで

福博印刷は、チラシ、カタログなどの商業印刷事業をベースに、インターネット事業やコンサルティング事業など、多様化する顧客ニーズに応じて事業を展開している総合印刷会社です。

「一番の強みは、お客様の目標達成のためにリサーチ、企画立案のスタートから最終的なゴールまで、一貫したサポートができることです」と語る宮原社長。印刷物だけでは課題解決に至らない場合でも、Web・映像・サイン看板・企画・デザイン・マーケティングの各分野で情報をうまく扱い、加工することで、最適な課題解決策を提案します。

平成30年(2018年)には、顧客企業のデータを利用したAI※代行運用やAI活用を支援する新事業をスタート。活用事例は、商品の売れ数予測やDM送付先の最適化などさまざまです。AIを活用すること

で、業務の効率化やコスト削減につながることから、ビジネスチャンスを広げる分野として大いに注目を集めています。

### “超”印刷に挑む未来

多彩な事業展開で欠かせないのが、現場を支える人材の確保と育成です。社内で各分野のスペシャリストを育てるだけでなく、地域社会に貢献するIT人材を育成しようと、佐賀県・佐賀市と“産業人材育成に関する協定”を締結した“デジタルハリウッドSTUDIO佐賀”を運営。未経験者でもWebクリエイターやDTPクリエイターを目指せる専門スクールで、学業・仕事・育児などライフスタイルに合った学びをサポートしています。開設から3年で130名を超える卒業生を輩出しており、地域活性化へ貢献しています。

同社の成長の原動力は、現状に満足す

ることなく新しいことにチャレンジし続ける企業風土です。「入社年次に関係なく、アイデアを出し合ってトライできる環境を整え、働きがいのある職場づくりに努めています。社員一人一人の成長こそが、企業の持続的な成長につながります。私たちが目指しているのは、印刷の枠にとられない“超”印刷です」と未来を見据える宮原社長。多面的な事業展開でお客様の課題を解決し、売上や利益の向上に貢献できるビジネスパートナーとして、これからも成長を続けます。



※AI:人工知能のこと



代表取締役社長  
みやほら かずひろ  
宮原 和弘

ニーズに応えた  
最適な印刷物を作成



## 福博印刷株式会社

☎ 0952-24-2366

[所] 佐賀市兵庫南4-22-40

[創業] 昭和23年(1948年)

[従業員] 242名

[HP] <https://www.ding.co.jp/> 福博印刷 検索

### このポイント!



デジタルハリウッドのフランチャイズとして“STUDIO佐賀”を平成28年(2016年)に開設。ホームページの制作・運営に関する必要な技術を習得できるクリエイター養成スクールで、好きな時間に好きな場所で自分らしく学べます。地域社会で活躍するクリエイティブ人材の育成に貢献しています。

## 株式会社ブリヂストン 鳥栖工場

世界トップシェアを誇る  
タイヤメーカー



### 高性能タイヤを世界へ供給

ブリヂストンは昭和6年(1931年)に創業した、タイヤ市場における世界トップシェアの企業です。戦後の高度成長期における自動車産業の発展に伴い、高性能タイヤの需要増を受け、昭和45年(1970年)、国内6番目のタイヤ工場として、九州の物流の要衝かつ人材が豊富である鳥栖で工場の操業を開始しました。現在は同社の中でも偏平率※1が低い高性能タイヤを主に生産し、世界に供給しています。

また、パンクなどによってタイヤの空気圧が失われた場合でも、一定距離を所定のスピードで走行できるランフラットテクノロジー採用タイヤも生産しています。高性能・高付加価値なタイヤづくりを支えているのは、徹底された高い品質経営と、最高水準の生産技術です。その結果、ゼネラルモーターズ社が定める、製品品質や品質マネジメントシステムなど13項目の品質に関

わる厳しい基準全てを満たした製造拠点に授与されるSupplier Quality Excellence Award<sup>アワード</sup>を3年連続で受賞するなど、海外メーカーからも高い評価を受けています。

### 高いレベルの品質を守る

ものづくりは品質経営が基盤です。CSR※2、コンプライアンス、安全、防災、環境、品質といった基盤になるところのレベルを上げていく一環として、顧客ニーズの中でタイヤづくりにおいては難しいとされる“人への教育、対応できる生産設備、生産方法”を日々改善し、要望に応えられるようにしています。

今後は、地球環境問題に対応した環境性能の高いタイヤをしっかりと供給することが必要だと考えています。そのため、IoT※3などのデジタル技術を開発して、データを活用したものづくりを行い、情報

でつながるような生産体制を確立し、さらなる品質向上に努めています。

ブリヂストン鳥栖工場は、さまざまなニーズに柔軟に対応できる世界一のものづくりを支える生産現場として、タイヤだけではなく、生産のプレミアム品質を目指していきます。



※1 偏平率: タイヤの幅に対する高さの比率の数値 ※2 CSR: 企業が社会に対して果たすべき責任のこと  
※3 IoT: モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



鳥栖工場長  
しの よしかつ  
篠 佳克

最速へのこだわりが生んだ、  
リアルスポーツPOTENZA  
RE-71RS



## 株式会社ブリヂストン 鳥栖工場

☎ 0942-83-5111

[所] 鳥栖市轟木町1000

[設立] 昭和45年(1970年)

[従業員] 783名

[HP] <https://www.bridgestone.co.jp/> ブリヂストン 検索

### このポイント!



“世の人々の楽しみと幸福の為に”という創業者の思いを受けて、平成18年(2006年)から“サガン鳥栖”のユニフォームスポンサーを務めているブリヂストン。さらに、“ブリヂストン吹奏楽団久留米”には鳥栖工場のスタッフも参加するなど、スポーツや音楽を通じた地域社会とのコミュニケーションにも力を注いでいます。

## 宮崎鉄工株式会社

鹿島で極める  
“セラミック用成形機”の  
トップ企業



### 極めることでオンリーワン

ファインセラミックは、自動車の排ガスのろ過フィルターや電子基板、身近なところではセラミック包丁などさまざまな製品に使われています。宮崎鉄工は、そのファインセラミック用真空押出成形機的设计・製造・販売を行っています。昭和33年(1958年)に国産の真空土練機の製造・販売から創業し、その後セラミック成形の技術的なノウハウを生かし、真空押出成形機を開発。電子部品や自動車産業などで需要が伸びているファインセラミックの業界に参入し、高く評価される真空押出成形機のメーカーになりました。

「セラミックの業界はニッチな市場ですが、鹿島の田舎で大手企業と渡り合うためには、技術力で負けないようにしないといけない。そのために大切にしているのは“極める”こと。他のメーカーではなく、弊社でしか作れないオンリーワンの製品づくり

を追求しています」と宮崎社長。同社の真空押出成形機は、耐久性と独自の精密な製造技術で評価され、現在は真空押出成形機に関するさまざまな特許を取得しています。また、取引先の要望に開発段階から積極的に応えていることで高い信頼を得ています。

### 技術者が集う工房

同社は研究実験室を設け、大手企業からの研究員がそこで成形テストを行っています。「弊社は、技術職人がいる開発型の工房だと思っています。取引先が出張してまで弊社で実験してもらっているのだから、いかに最適な製品の提案を行えるかが大切です。セラミック原料の粒子は大きさや接着剤の配合など取引先ごとにバラバラなので自分たちのこれまでの経験と実績に基づいて伝えないとはいけません。弊社の社員

はほとんどが職人。だからこそ技術の説明にも重みがあります」と宮崎社長。人材育成でも研究開発に重きを置き、60年にも及ぶノウハウを継承、さらに発展させています。

これからは、セラミックだけではなく、樹脂系との複合材など広い意味での“粘土”という新しい素材に挑戦していく宮崎鉄工。鹿島からさらなる粘土成形の極みを目指していきます。



代表取締役社長  
みやざき てつや  
宮崎 哲也

ファインセラミック用  
真空押出成形機



## 宮崎鉄工株式会社

☎ 0954-63-4174

[所] 鹿島市大字中村2031-1

[創業] 昭和33年(1958年)

[従業員] 19名

[HP] <http://www.miyatetsu.jp/> 宮崎鉄工 検索

### このポイント!



宮崎鉄工は、独自の精密な製造技術力で“真空押出成形機の専門メーカー”としてアジア諸国をはじめ、ヨーロッパ、アメリカなどの多くの国や国内の大手メーカーから高く評価されています。展示会でもその技術力に多くの人が注目しています。

# 45

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(地場産業系)

## レグナテック 株式会社

木と人を生かす家具づくり  
世界とつながるメーカー



### 佐賀発のブランド家具

佐賀県の伝統的な地場産品の一つ、諸富家具。創業50年を超えるレグナテックは、古くからこの地で家具の企画・製作・販売までを行うメーカーです。中でも近年の独自のブランド展開に特色があります。

“CLASSE”は全てが樺島雄大社長によるデザインで、ホームユース向けの製品。完全自社生産でいち早く立ち上げられたメインブランドです。

また、平田椅子製作所と共同で開発する“ARIAKE”は、海外7カ国のデザイナー10名が、佐賀の文化にインスピレーションを得てデザインし、佐賀の職人とともに作り上げる家具ブランド。最高の技術を取り入れ洗練された家具の価値が、多くの旅館やホテルなどに認められています。貴重なチーク材の産地であるラオスと連携し、現地で技術を指導しながら製作する“CLANTREEプロジェクト”にも参加。さら

に令和元年（2019年）11月には、太良町産のヒノキを使ったオフィス家具“ROOT”も立ち上げました。

「家具メーカーとして生き残っていくためには、ブランド力を高めしっかりと認知してもらうことが必要です」と樺島取締役。海外へはアジアや北欧、アメリカなど7カ国に輸出し、今後も12カ国への輸出を目指すなど、グローバルな視点で商圏を広げています。



### 生かし続ける“手仕事”

本社社屋と工場には、木の香り漂う広大なショールームが隣接し、ここで300点以上の自社商品を実際に見ながら購入することができます。どの家具にも共通するのは、素材の良さとテーブルの裏など細部にわたる仕上がりの美しさです。「見えない部分の違いが中国や香港などのお客さまからの評価につながっているようです」と樺島取締役。

さまざまな工程で機械化が進められる中、「全てを機械に任せるのではなく、手作業の部分を残し、ものづくりの楽しさと効率とのバランスを考えています」と、職人が働きやすい環境をつくります。魅力ある製造業の発信を行いながら、家具産業の未来に活路を見出し、積極的に業界をリードする企業です。



取締役 ブランドマネージャー  
かばしま けんご  
樺島 賢吾

海外のデザイナーと  
作るブランド家具  
“ARIAKE”



## レグナテック株式会社

☎ 0952-47-6111

[所] 佐賀市諸富町山領266-1

[代表者] 代表取締役社長 樺島 雄大 (かばしま たけひろ)

[創業] 昭和39年(1964年)

[従業員] 45名

[HP] <https://www.legnatec.co.jp/>

レグナテック 検索

### ココがポイント!



上質な素材を使い、デザイン性と仕上がりの美しさを追求する家具メーカー。特に独自のブランド構築を重点的にを行い、海外にも積極的に展開。平成27年(2015年)にはグッドデザイン賞を受賞しました。佐賀県の伝統産業“諸富家具”の魅力を発信しながら、製造業の発展に貢献しています。